

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 7 年 1 月 9 日(2025.1.9)

【公開番号】特開 2023-100402(P2023-100402A)

【公開日】令和 5 年 7 月 19 日(2023.7.19)

【年通号数】公開公報(特許)2023-134

【出願番号】特願 2022-1054(P2022-1054)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 1

10

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 25 日(2024.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段と、

スタートスイッチの操作に応じて、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリールを回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段と、

特定の役の入賞を補助する補助演出を行う補助演出実行手段と、

当選役の入賞に基づいて遊技価値を払い出す払出制御手段と、

演出を実行する演出制御手段と、

30

を備え、

複数のリールは、第 1 リール、第 2 リール、および、第 3 リールを含み、

前記当選種別として、複数種類の小役が重複して当選する選択当選種別が複数種類存在し、

複数種類の前記選択当選種別のそれぞれには正解操作態様が設定されており、

前記第 2 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別と、前記第 3 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別とが存在するが、前記第 1 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別は存在せず、

前記リール制御手段は、前記選択当選種別が当選した遊技において、

40

前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、1 遊技に対してベットされる遊技価値よりも多い遊技価値が払い出される小役が入賞するように前記リールを停止制御し、

前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である不正解操作態様のうち、前記第 1 リールを最初に停止させる第 1 の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、1 遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役が必ず入賞するように前記リールを停止制御し、

前記不正解操作態様のうち、前記第 2 リールまたは前記第 3 リールを最初に停止させる第 2 の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、1 遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役が入賞する場

50

合と、いずれの役も入賞しない場合とが存在するように、前記リールを停止制御し、

前記演出制御手段は、

特定操作を示唆する情報を記憶部に保持し、

全ての前記ストップスイッチに対して操作が行われた後に、確認操作に応じて、前記情報を報知することが可能な遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段（例えば、当選種別抽選手段３０４）と、スタートスイッチ（例えば、スタートスイッチ１１８）の操作に応じて、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリール（例えば、リール１１０）を回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段（例えば、リール制御手段３０６）と、特定の役の入賞を補助する補助演出を行う補助演出実行手段（例えば、段落３５、３６に記載された補助演出実行手段）と、当選役の入賞に基づいて遊技価値を払い出す払出制御手段（例えば、払出制御手段３１０）と、演出を実行する演出制御手段（例えば、演出制御手段３３４）と、を備え、複数のリールは、第１リール（例えば、左リール１１０ａ）、第２リール（例えば、中リール１１０ｂ）、および、第３リール（例えば、右リール１１０ｃ）を含み、前記当選種別として、複数種類の小役が重複して当選する選択当選種別（例えば、段落４８、５５、５６、図６に記載された当選種別「打順ベル」）が複数種類存在し、複数種類の前記選択当選種別のそれぞれには正解操作態様が設定されており、前記第２リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別（例えば、段落５５、５６、図３、５、６に記載された当選種別「打順ベルＡ１」）と、前記第３リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別（例えば、段落５５、５６、図３、５、６に記載された当選種別「打順ベルＡ３」）とが存在するが、前記第１リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別は存在せず、前記リール制御手段は、前記選択当選種別が当選した遊技において、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、１遊技に対してベットされる遊技価値よりも多い遊技価値が払い出される小役（例えば、段落５５、５６、図３、５、６に記載された当選役「小役１」、「小役２」、「小役５」、「小役７」）が入賞するように前記リールを停止制御し、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である不正解操作態様のうち、前記第１リールを最初に停止させる第１の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、１遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役（例えば、段落５５、５６、図３、５、６に記載された当選役「小役３８」、「小役３７」）が必ず入賞するように前記リールを停止制御し、前記不正解操作態様のうち、前記第２リールまたは前記第３リールを最初に停止させる第２の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、１遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役（例えば、段落５５、５６、図３、５、６に記載された当選役「小役２５」、「小役２１」）が入賞する場合と、いずれの役も入賞しない場合とが存在するように、前記リールを停止制御し、前記演出制御手段は、特定操作（例えば、第１停止操作）を示唆する情報を記憶部に保持し、全ての前記ストップスイッチに対して操作が行われた後に、確認操作に応じて、前記情報を報知することが可能である。

10

20

30

40

50